

ネイチャーウォッチングだより

令和7年 10月 23日(木)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大学・短期大学

10月19日(日)、Cグループの第1回ネイチャーウォッチングを開催しました。会場は豊川市の東三河ふるさと公園。標高195mの遠見山を中心とした自然豊かで広大な敷地に、庭園や山野草園、展望ツツジ園などが整備された県営の施設です。朝からどんよりとした曇り空で雨が心配されましたが、一時的な霧雨に降られた程度ですみ、予定どおり実施することができました。

今回の親子自然体験は、「里山の生き物ウォッチング」です。26組86名の親子の皆さんが、園内の遊歩道を散策しながら自然観察を楽しみました。講師は元豊川市立音羽中学校長の藤原優年先生です。秋の園内で見られる動植物について、実際に観察しながら説明していただきました。



藤原先生の説明に興味津々！

散策を始めてまず、ドングリのお話がありました。この公園には、コナラやシイなど多くの種類のドングリがあるそうで、イガのあるクリもドングリの仲間だと聞き、「へえー、そうなんだ」という声も聞こえました。次に、遊歩道横の斜面に見られた動物の足跡について、「足跡の形でどんな動物が歩いていたのか分かります。この足跡はイノシシです」と図を使って説明されました。「こんなところに来るんだ！」と驚きの声も聞こえました。藤原先生が事前に仕掛けられたペットボトルのトラップ(罠)も紹介され、夏にはカブトムシやクワガタも捕まえられるそうです。

遊歩道沿いにはウラジロなどシダの仲間が多く観察できました。彼岸花も多く見られ、「花は終わってしまいましたが、葉が伸びてきていますね。ほかの植物が枯れてしまうこの時期から育ってくるのです」と教えていただきました。また、ヒガンバナの球根には毒があること、昔、飢饉のときには球根を毒抜きして食べていたこと、そのほかここに書ききれないほど多くのことを教わりました。

出発地点から138mの標高差を登りきると、展望ツツジ園に到着です。三河湾や渥美半島、豊橋市や豊川市の街が一望でき、その景色に疲れが吹き飛びました。下山途中の山野草園では、フジバカマの花畑にたくさんのアサギマダラが飛来してきていて、「すごい!」、「うわー、きれい!」などの歓声が上がり、思い思いに写真や動画を撮影していました。

最後に参加者からの声の一部を紹介します。

- ・どんぐりがたくさんとれてよかった。(子)
- ・ふだん、気にしないような自然にふれられて楽しかった。(子)
- ・大人になっても知らないままだったことを教えていただいて、有意義な時間を過ごせたと思います。ありがとうございました。(母)

- ・思ったより歩きました。子どもの体力が心配でしたが、最後まで参加できてよかったです。秋の山の様子がよく分かりました。(母)
- ・いのししの話が怖かった。(子)



フジバカマの花に集まるアサギマダラに感動！

- ・蝶を見つけるのを楽しみにして来ました。あんなにもたくさんのアサギマダラを見ることができて感動いたしました。(母)
- ・木の実がわろうそく和蠟燭の原料になっていると知り、勉強になりました(子)



参加家族、全員集合！